

LOMの運動に使える
KANCHIKU
PROPOSAL

第72回関東地区大会

**次世代教育委員会の事業にご参加いただきありがとうございます
います。**

**この資料は、LOMの本年度や次年度の運動構築に向けた提案書です。
LOMの次世代型STEAM教育に関する運動の例会や事業に使えます。
議案作成や基本方針、所信などのヒントとしてご利用ください。**





関東地区各地における現状の課題

テクノロジーの発展によって社会は今、大きく変わっています。しかし、教育の分野はその歴史的な変化についていけない現状があります。関東地区各地に広がりつつある、**主体的で対話的な深い学びの得られる、次世代型 STEAM 教育の萌芽を周知し、**多様な教育の在り方を提示することで、**教育に改革をもたらす必要**があります。

課題の解決に向けた目的

次世代教育が関東地区全域に共有され、**日本を牽引すること**目指し、関東地区における次世代教育の**ロールモデルの提示と普及**を目的とします。

今回ご参加いただいた事業について

現在の日本の教育は「知識伝達型」ではありますが、グローバル化・情報化社会において見つけにくい課題を見出す事が出来る人財を求められています。

「課題創造型」の人財育成においてSTEAM教育は有効であり、パネルディスカッションにおいてその有用性を周知します。

トークショー形式のフォーラムでは現在の教育事例、STEAM教育実践校の事例を混ぜながら親子での教育の在り方についてなど討論して頂きます。さらにはゲストが考えるSTEAM教育が浸透した日本の可能性について討論して頂き、参加者が主体的にSTEAM教育について考える場といたします。

我々親世代のSTEAM教育の在り方、子どもとのSTEAM教育の在り方、JCだから出来る事を示していきますので、ぜひ



次世代教育委員会のここまでの運動のご説明

当委員会では関東地区における次世代教育のロールモデルの提示と普及を行うため、従来の画一的な知識伝達型の教育システムを脱した、多様性や主体性を重んじるSTEAM教育を学び、実践してまいりました。本大会でのフォーラムはその重要性と有益性を周知し、次世代教育のモデルケースを発信する場となります。

その先において行いました、山梨県大月市での小中学生とその保護者をメインターゲットとした「ワクワク体験！ 未来の学校」では数多くの方にご来場いただき、定員数がある授業ではどれも満員御礼となりました。



← プログラミング授業
大月市版オリジナルすごろ

→ 地学実験授業
「火山の噴火実験」



→ STEAM教育教材の体験



次世代教育委員会からLOMの皆さまへ こんな運動に使えるよ！のススメ

未来の基礎教育STEAM教育の定義においては、S(サイエンス)、T(テクノロジー)、E(エンジニアリング)、M(マスマティクス)及び芸術・文化・生活・経済・法律・政治・倫理等を含めた広い範囲で定義されるAを、横断的に実践していくことが定められているため、手法の例示ではあるものの、**一つの事業では横断学習の例示として不十分**となる懸念があります。そこで、できる限り広い分野において、体験型で横断的な教育手法を例示するため、大月市で行った次世代教育事業「ワクワク体験！みらいの学校」では3つのコンテンツで構成される**フェスティバル形式の大会**を行いました。

そして栃木大会においては教育系Youtubeで**保護者や子どもから絶大な人気を誇る小島よしお氏**、埼玉大学で**STEAM教育研究センター代表を務める野村泰朗氏**、**実際の教育現場にいらっしゃる創英中学・高校前校長の工藤勇一氏**に登壇頂きます。**専門分野かつ特定層に多大な支持がある講師**の話聞き、教育課題を知る機会を作り、STEAM教育にはそれらを解決する力があるという事を示してもらいます。

どちらの事業も関東地区はもちろん国内、世界において**必要な教育科目となる**ものであり、それでいて**地域の方々が大きく興味を持って**いただけるコンテンツだと考えております。

STEAM 教育の 原点

- step.1 知識伝達型教育
- step.2 STEA教育とは
- step.3 STEAM教育の魅力

STEAM教育は
どうして生まれた
の？
身につけた方が
良い理由が分か
れば疑問がスッキ
リ。
「よく分からない
もの」からの脱出
を！



STEAM 教育の 課題

- step.1 浸透状況と課題
- step.2 教育現場の実態
- step.3 課題紹介・解決策

必要なのはわかっ
たけど、どのくら
い普及している
の？
一歩進むためには
何が必要なんだろ
う？
未来のために私た
ちができること
を！



親子で考 える STEAM の未来

- step.1 STEAM教育の事例
- step.2 子どもの反応
- step.3 親子で学ぶ

未来を創るのは
子ども達だけ
じゃない。
今を生きる全員
で考えること。
STEAM教育が
全世界100%普
及したらどんな
未来が待ってい
るのかな？

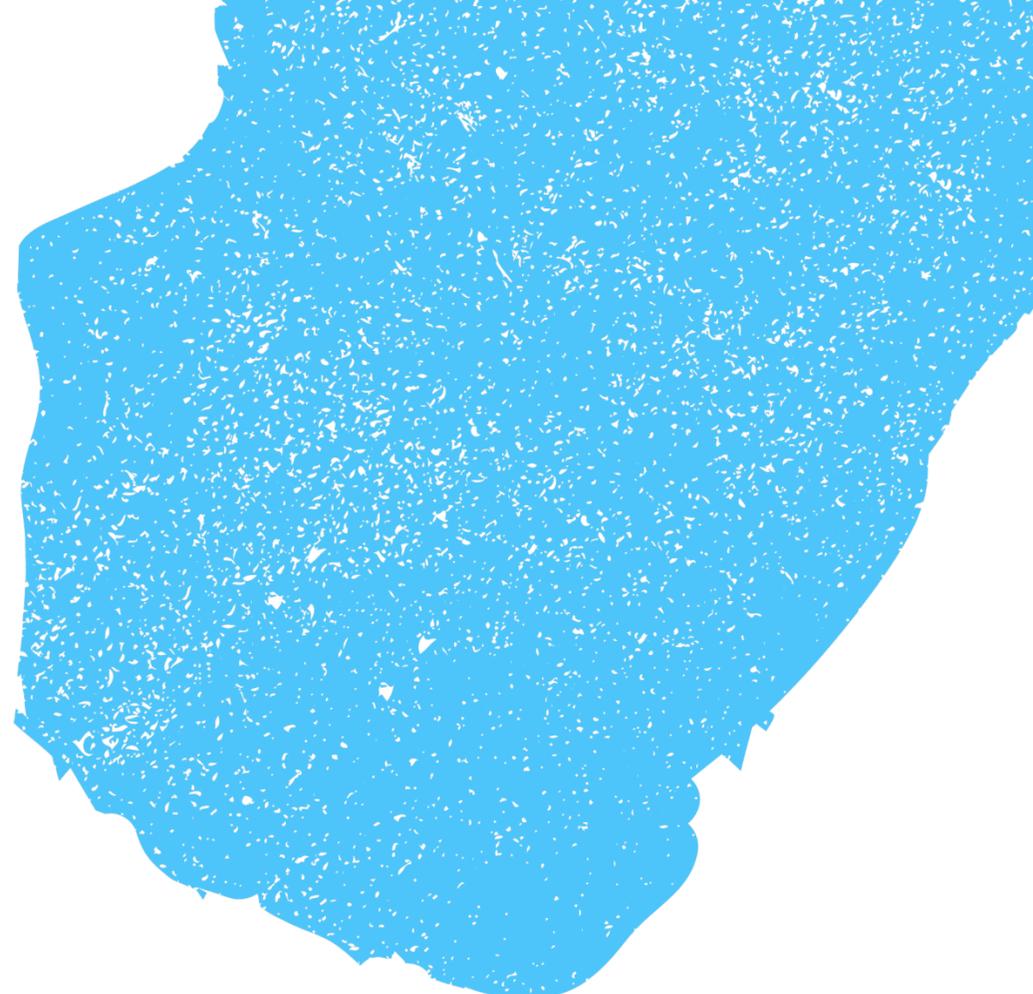
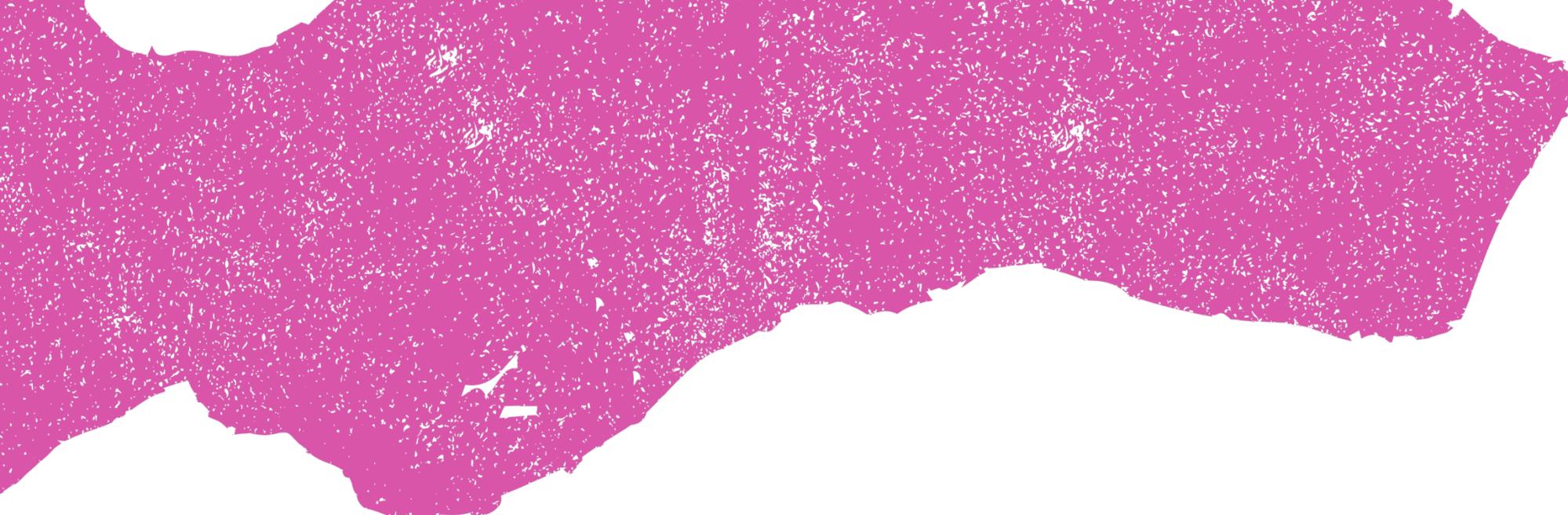


STEAM 教育で目 指す次の 世代

- step.1 日本の未来
- step.2 society5.0
- step.3 自分たちで出来る事

新たな社会ステージ
『society.5』へ！





お問い合わせはこちら！

公益社団法人日本青年会議所

関東地区協議会 次世代教育委員会

委員長 野田宏規

MAIL:ashnodoubt@gmail.com

副委員長 藤田和也

MAIL:cureproduction2019@gmail.com

